

第五回 中国国際輸入博覧会 (CIIE2022)

ジャパン・パビリオン内に横浜ブースを出展

横浜市では、IoT 分野の「I・TOP 横浜」と、健康・医療分野の「LIP.横浜」の2つのプラットフォームを活用し、デジタルヘルスケア分野の新技术・新製品の開発を支援しています。

この取組の一環として企業の海外展開を支援するため、昨年引き続き、「第五回 中国国際輸入博覧会」において、(公財)横浜企業経営支援財団 (IDECC 横浜) と共同で「横浜ブース」を出展します。

昨年、横浜ブースでは、130 件以上の商談が行われるなど着実に出展企業のビジネスチャンスの拡大につながっており、引き続き本展示会にて企業の技術提携や販路開拓等のビジネスチャンスを提供します。

1 「第五回 中国国際輸入博覧会 (CIIE2022)」の概要

2017 年 5 月、習近平中国国家主席が北京で開催された「一帯一路」国際協力サミットフォーラムにおいて、その開催を発表して以来、世界各国との経済交流・協力の強化、世界の貿易と経済成長を促し、開放型の世界経済発展を促進するという目的で開催されています。

- (1)主 催：中国商務部、上海市人民政府
- (2)会 期：2022 年 11 月 5 日 (土) ~10 日 (木)
- (3)会 場：中国・国家会展中心 (上海)
- (4)出 品 国 数：127 か国・地域 (第四回実績)
- (5)出 品 物 要 件：製品・技術・サービス等 中国関税領域以外で生産されたものなど
- (6)来 場 者：バイヤー、政府関係者、一般来場者等
- (7)詳 細：中国国際輸入博覧会

(CIIE 2022 ホームページ <https://www.ciie.org/zbh/index.html>)




2 「横浜ブース」概要

- (1)出展場所：医療機器・医薬保健エリア
ジェトロ ジャパン・パビリオン内 2 小間 (18 m²)
- (2)出 展 社：・株式会社 テレメディカ (詳細裏面)
・ IDECC 横浜事務局ブース
- (3)事 務 局：横浜市・IDECC 横浜



< 昨年の様子 >

【株式会社テレメディカ】

<p>事業概要および 出展内容</p>	 <p>仮想空間聴診シミュレータ iPax</p>  <p>聴診専用スピーカ聴くゾウ</p>	<p>聴診教育のためのハードウェア（聴診専用スピーカ聴くゾウ）とソフトウェア（仮想空間聴診シミュレータ iPax）を販売しています。国内では標準的ツールとして医科大学、看護大学など医療系教育機関で広く使われています。実際の患者と変わらない心音・肺音をパソコンやスマートフォンで利用できることが評価されています。</p> <p>【出展内容】 仮想空間聴診シミュレータ iPax 聴診専用スピーカ 聴くゾウ</p>
<p>【代表者コメント】</p> <p>聴診は、診断機器としてだけでなく、医療従事者と患者の信頼関係構築に重要です。医療は今後一層デジタル化されるでしょう。デジタル化すればするほど医師と患者の関係は希薄になることを私たちは懸念しています。それを予防するために聴診教育に取り組んでいます。</p>		 <p>代表取締役社長 藤木 清志（薬剤師/MBA）</p>

【IDEC 横浜事務局】

<p>事業概要および 出展内容</p>	<p>横浜市の医工連携・ヘルスケア分野について LIP.横浜などの施策紹介のほか、共同出展する横浜市内中小企業のサポートを行います。 IDEC 横浜本部のほか、上海事務所が現地で支援します。</p>
-------------------------	---

デジタルヘルスケアサポート拠点



デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。この拠点では、IoT 分野の「I・TOP 横浜」と健康・医療分野の「LIP.横浜」の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団および横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

■ 場所

横浜市中区尾上町 1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

■ 利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

■ 利用方法

利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

■ お問合せ先

デジタルヘルスケアサポート拠点事務局

support@healthcare.yokohama

LIP 横浜とは…



横浜から、健康・医療分野（※）のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。

LIP横浜では、企業・大学・研究機関で構成するネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに新技術・新製品の創出にチャレンジするベンチャー企業・中小企業等の皆様を応援するため、様々な取組を行っています。

（※）健康・医療分野：創薬、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康サービスなど

I TOP 横浜とは…



横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。

これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

お問合せ先

・デジタルヘルスケア拠点、LIP 横浜、I TOP 横浜に関する事		
横浜市経済局産業連携推進課 担当課長	松本 圭市	Tel:045-671-3591
・第五回 中国国際輸入博覧会（CIIE2022）、出展企業に関する事		
公益財団法人 横浜企業経営支援財団経営支援部長	加藤 盛司	Tel:045-225-3730

※本件は、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会及び横浜経済記者クラブに同時発表しています。